



小郡市立大原中学校 令和8年4月16日 第2号

大原中学校だより

校長 末崎 謙次



【学校教育目標】自走と共生に必要な資質・能力を身につけた生徒の育成

出会いがつくる1年のスタート

詩人・相田みつをさんの言葉に、「その時の出会いが 人生を根底から変えることがある」という一節があります。

4月、大原中学校にも新しい出会いが生まれました。仲間との出会い、先輩との出会い、先生との出会い。学校とは、ただ知識を学ぶ場所ではなく、人との関わりの中で、自分で考え行動する力(自走)や、互いに支え合いながら生きていく力(共生)を育てていく場所です。

この新しい出会いが、皆さん一人ひとりのこれからを大きく広げていくことを、今から楽しみにしています。

新たな一歩を踏み出した118名

4月9日、第80回入学式を挙行し、118名の新入生を迎えました。



在校生代表の歓迎の言葉では、「出会いを大切にしながら、一歩ずつ進んでいきましょう」という温かいメッセージが送られました。また、新入生代表からは、「何事にも一生懸命に取り組み、自分で考え、自分で行動できる力をつけたい」という力強い決意が述べられました。少し緊張した表情の中にも、「頑張りたい」という思いが伝わってきました。この日から、大原中学校の新しい仲間としての歩みが始まりました。

誰かのために動く力が学校をつくる

入学式を支えたのは、在校生の力です。会場準備や清掃、教室環境づくりなど、新入生が気持ちよく入学できるよう、一人ひとりが役割を果たしていました。当日は、吹奏楽部が式を彩る演奏を披露し、生徒会役員の皆さんが新入生の案内や誘導を丁寧に行いました。その姿には、「新入生を迎えたい」という思いだけでなく、自分たちの学校をよりよくしようとする主体的な行動が表れていました。



誰かのために動く経験が、自分自身の成長にもつながっていきます。

全校330名で動き出した大原中

4月10日の対面式では、全校生徒330名が一堂に会し、令和8年度の学校生活が本格的にスタートしました。学校紹介では、生徒会が中心となり、授業や学校生活の様子を分かりやすく伝えてくれました。ユーモアを交えた発表に、新入生の表情も次第に和らいていきました。また、部活動紹介では、各部が工夫を凝らした実演を行い、部活動の魅力が伝わる時間となりました。



最後に行われた体育大会のブロック色決めでは、会場全体が大いに盛り上がり、これから始まる体育大会の練習に向けての期待が高まりました。まさに、330名で同じスタートラインに立った瞬間でした。

1組ブロック…黄、2組ブロック…赤、3組ブロック…青

5月17日(日)の体育大会に向けて、各ブロックの活動も本格的に始まります。仲間と協力しながら一つの目標に向かって取り組む経験は、皆さんをさらに大きく成長させてくれるはずです。

自分たちでつくる学校へ

生徒会活動は、一部のリーダーだけのものではありません。全校生徒一人ひとりが、その大切な一員です。対面式で見られた先輩たちの姿は、「自分たちで学校をよりよくしていこう」という意志の表れでした。

学校は、誰かに動かしてもらう場所ではなく、自分たちの手でつくっていく場所です。

3年生がリーダーシップを発揮し、2年生、1年生がそれを支えながら、それぞれが自分の役割を果たしていく。その積み重ねが、「自走する学校」をつくっていきます。

出会いを未来の力に

4月の出会いは、これからの一年を形づくる大切な出発点です。うまくいくことばかりではなく、悩むことや迷うこともあるでしょう。しかし、その一つひとつの経験が、自分を成長させてくれます。出会いを大切にしながら、仲間とともに支え合い、前に進んでいく。

その積み重ねが、一人ひとりの力となり、学校全体の力となっていきます。

これからの大原中学校が、さらに温かく、そして力強い学校へと発展していくことを期待しています。